

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	志賀高原ユネスコエコパーク「絆」創造事業
事業主体 (連絡先)	志賀高原ユネスコエコパーク活用山ノ内町協議会 (事務局 山ノ内町農林課 耕地林務係 0269-33-3112)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,447,875円 (うち支援金: 1,888,000円)

事業内容

1. 記録映像製作  
ユネスコエコパーク内での ABMORI 等各種取組を映像として記録した。
2. ユネスコスクールの活動支援  
ABMORI での発表及び植樹活動、育苗・採取活動、モニタリング調査等を実施した。
3. ABMORI サポーターズ倶楽部の設立・支援  
多くの人が主体的に参画していただく場を提供し、活動の支援を実施。
4. 森林セラピーの実施  
森林セラピーを開催し、参加者に対しユネスコエコパークの取り組みについて理解を図った。



【10/7 森林セラピー】

【目標・ねらい】

- ① 産業の振興と環境教育の推進
- ② 地域活性化
- ③ 地域資源の魅力発信
- ④ 環境教育の場の提供

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 映像を製作したことにより、3月8日の銀座NAGANOでの記者発表や、ABMORIのHP等での周知・広報が可能となり、地域資源の魅力発信に繋がった。
2. 小・中・高校生が活動に参画することで、EDS活動として、環境教育の場の提供・推進となった。
3. のべ約40人にサポーターズ倶楽部としてABMORIのお手伝いを頂き、活動支援の輪が広がり、地域活性化となった。
4. 森林セラピーに約30人の参加があり、体験を通じて、観光資源の魅力発信・地域活性化になった。

※自己評価【B】

【理由】

映像を製作したことにより、地域資源の魅力発信となり、また、森林セラピーやEDS活動報告等により、産業の振興・環境教育の推進、地域活性化、環境教育の場の提供が達成できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

映像により各種イベント等での地域の魅力発信に繋げるとともに、小・中・高校生による各種活動やサポーターズ倶楽部、森林セラピーの継続により、産業振興と環境教育の推進、地域活性化に引き続き取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある